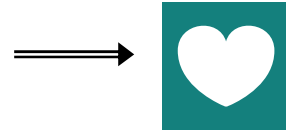


バリアフリー環境(対応編)

基本的な対応と心構え

- ① 困っていること、手助けを必要としていることに気付き、相手の気持ちを尊重した「お互いさま」のあたたかい関係をつくります。
- ② 困っている人をみつけたら、「どうしましたか？」と声をかけます。
- ③ 同情したり、一方的に援助するのではなく、相手の気持ちに配慮した優しい対応に心掛けます。

※バリアフリー環境(対応編)の要件を満たしている場合はこのサインシールをお渡しします。



● 具体的な対応例

高齢者

- ① 困っている様子を見たら、声を掛けてください。
- ② 店に椅子などがあれば、腰を掛けながらゆっくり対応してください。
- ③ はっきりした大きめの声で話してください。

子ども連れの方

- ① 赤ちゃんが泣いたり、子どもが騒いだりしても、見守ってあげてください。
- ② 階段など段差で困っていたら、声を掛けてみてください。

障害者

- ① 車椅子の方など、手の届かない高い所の商品は、手に取ってあげてください。また、入口に段差などがあれば、板を渡すなどの対応をしてください。
- ② 介助者がいても、本人に話しかけてください。
- ③ 視覚障害者のために、店の前に、駐車スペース以外の自転車は止めさせないでください。また手に取っても大丈夫なものは、商品を手に取って触らせてあげてください。
- ④ 必要に応じて、メモなどを渡してください。
- ⑤ ゆっくりとはっきり話してください。

など